

■田本研造 写真家。開港直後の箱館赴任で、ロシア医師から写真技術学び、北海道開拓初期の貴重な記録を遺した。

たもとけんぞう

鼠小僧磔・・・1832＝ 紀伊国牟婁郡神川村で、農家の子に生まれる。

大塩平八郎乱1837＝ 5歳：

天保改革始・1841＝ 9歳：

阿部正弘首座1845＝13歳：

国定忠治磔・1850＝18歳：

ペリー来航・1853＝21歳： 医学を志して、
開国開港・・・1854＝22歳： 長崎に赴き、蘭方医吉雄圭斎の下僕となり、
医学や舎密を学びつつ、西洋科学の諸事情に触れ、写真術のことも知る。

安政の大獄・1859＝27歳： 長崎奉行所通詞松村喜四郎の転勤に従い、開港直後の箱館に赴任するが、
桜田門外変・1860＝28歳： 右足が悪性の壞疽に罹り、ロシア医師ゼレンスキの手術を受けて切断、療養中にゼレンスキから写真技術の手ほどきを受け、

薩長同盟・・・1866＝34歳： この頃から、木津幸吉と並んで、写真師として活動を始め、研究し合って人物や風景を撮るようになる。
大政奉還・・・1867＝35歳： *木津幸吉とともに、松前に赴き、福山城で藩士らを撮影、旧式築城の貴重な記録となる。
明治維新・・・1868＝36歳： 箱館戦争中には、旧幕府軍の榎本武揚・土方歳三らを撮影、
戊辰戦争終・1869＝37歳： 大工町に*北海道初ながら、採光用ガラス窓のついた本格的な写真館を構え、以後、写真師を輩出。

廃藩置県・・・1871＝39歳： 開拓使から依頼され、門弟を伴って、小樽・札幌などの開拓状況を撮影。
学問のすすめ1872＝40歳： その写真が、函館出張開拓使庁から東京に送られ、政府に伝達後、一般に展覧され、
明治6年政変 1873＝41歳： *ウィーン万国博覧会にも出品される。

西南戦争・・・1877＝45歳：

明治14年政変1881＝49歳：
新体詩抄・・・1882＝50歳： *この年まで、開拓使専属写真師をつとめ、

秩父事件・・・1884＝52歳： 乾板写真を採用。

帝国大学始・1886＝54歳：

帝国憲法発布1889＝57歳：

日清戦争始・1894＝62歳：
日清戦争終・1895＝63歳：

日露戦争始・1904＝72歳：
日露戦争終・1905＝73歳：

明治天皇没・1912＝80歳： 没した。

岩波「田本研造と明治の写真家たち」、インターネット、